



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月13日

上場会社名 株式会社P R T I M E S 上場取引所 東
 コード番号 3922 URL https://prtmes.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 拓己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 三島 映拓 TEL 03-6455-5464
 四半期報告書提出予定日 2020年10月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の業績 (2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	1,741	—	631	—	631	—	601	—
2020年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	46.16	46.03
2020年2月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 2020年2月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年2月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2020年8月5日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	2,732	2,074	75.9	159.08
2020年2月期	2,046	1,472	72.0	112.93

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 2,074百万円 2020年2月期 1,472百万円

(注) 当社は、2020年8月5日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	3,357	16.4	757	49.2	753	48.5	707	157.5	54.22

- （注） 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、2020年8月5日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。
 3. 2021年2月期第2四半期の業績は通期業績予想を上回ることが期待される進捗ではあるものの、新型コロナウイルス感染症に起因する内容のプレスリリースが未だ多く、同程度の成長が下半期以降も続くかは不透明な状況であるため、通期業績予想は前回発表予想から変更していません。

※ 注記事項

- （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記（4）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

- （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- （3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	13,457,200株	2020年2月期	13,457,200株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	416,882株	2020年2月期	416,636株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	13,040,404株	2020年2月期2Q	13,309,759株

（注）当社は、2020年8月5日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第 2 四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)の当社におきましては、引き続きプレスリリース配信サービス「PR TIMES」の基盤強化を進めながら、社会的な情報インフラとして、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態の中でも、生活者に正しく有益な情報を届けるため、最善を尽くしてまいりました。営業活動や広報活動が満足に出来ない企業に対して、長期契約の期間延長やプレスリリース配信の無償提供など、各種支援活動も行っていました。その結果、利用企業社数は2020年8月に43,516社(前年同期比11,105社増加)に達し、国内上場企業のうち41.8%の企業にご利用いただいております。メディアユーザー数も18,757名となり、引き続き成長基調を維持しております。プレスリリースの配信と受信双方の増加に伴いネットワーク効果が大きく働き、

「PR TIMES」は従来の報道向け素材資料であるプレスリリースの情報流通サービスから、PR(パブリック・リレーションズ)プラットフォームへと変容を遂げております。

しかしながら、緊急事態宣言発令の影響で「PR TIMES」のプレスリリースの利用機会が一時的に減少し、4月のプレスリリース件数は2011年3月以来9年1カ月ぶりに前年同月比で10%未満の増加に留まりました。その一方で、新型コロナウイルス関連やテレワーク関連等のプレスリリースへのアクセスは増加し、5月のサイト閲覧数は5,200万ページビューを超えました。5月25日に緊急事態宣言が解除されたことで、6月以降のプレスリリース件数はコロナ禍以前の成長率を取り戻しておりますが、「マスク」及び「消毒液」といった新型コロナウイルス感染症に起因する内容のプレスリリースが未だ多く、同程度の成長が下半期以降も続くかは不透明な状況です。

また、新規事業として取り組んでおります広報・PR効果測定サービス「Webクリッピング」のユーザー数は10,345名、タスク管理ツール「Jooto」のユーザー数は234,562名、カスタマーサポートサービス「Tayori」のアカウント数は37,195名となりました。いずれのサービスもユーザー数もしくはアカウント数は伸びているものの、有料課金率は極めて低く、投資フェーズが続いております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,741,359千円、営業利益は631,943千円、経常利益は631,977千円、四半期純利益は601,971千円となりました。当社は、前第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

なお、当社はプレスリリース配信事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ685,405千円増加し、2,732,019千円となりました。

流動資産におきましては、当第2四半期会計期間末残高は、2,363,971千円と前事業年度末に比べ690,736千円の増加となりました。これは、現金及び預金の増加689,726千円が主な要因となります。

固定資産におきましては、当第2四半期会計期間末残高は、368,048千円と前事業年度末に比べ5,331千円の減少となりました。これは、有形固定資産の増加11,052千円、無形固定資産の減少19,042千円が主な要因となります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ83,705千円増加し、657,444千円となりました。

流動負債におきましては、当第2四半期会計期間末残高は、650,357千円と前事業年度末に比べ82,332千円の増加となりました。これは、未払法人税等の増加86,863千円が主な要因となります。

固定負債におきましては、当第2四半期会計期間末残高は、7,086千円と前事業年度末に比べ1,373千円の増加となりました。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ601,699千円増加し、2,074,575千円となりました。これは、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加601,971千円が主な要因となります。

② キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,822,160千円となりました。当第 2 四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は581,684千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益790,764千円、抱合せ株式消滅差益192,102千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は88,112千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出43,246千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は1,450千円となりました。これは主に、リース債務の返済による支出1,177千円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年 4 月 14 日の「2020年 2 月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,132,433	1,822,160
受取手形及び売掛金	543,739	565,884
その他	59,459	46,659
貸倒引当金	△62,397	△70,732
流動資産合計	1,673,234	2,363,971
固定資産		
有形固定資産	80,737	91,790
無形固定資産	136,618	117,575
投資その他の資産	156,023	158,682
固定資産合計	373,380	368,048
資産合計	2,046,614	2,732,019
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,605	50,566
未払法人税等	113,190	200,053
前受収益	134,446	178,515
賞与引当金	37,420	22,471
その他	246,363	198,751
流動負債合計	568,025	650,357
固定負債		
その他	5,713	7,086
固定負債合計	5,713	7,086
負債合計	573,738	657,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	420,660	420,660
資本剰余金	395,660	395,660
利益剰余金	1,168,106	1,770,078
自己株式	△511,731	△512,004
株主資本合計	1,472,695	2,074,395
新株予約権	180	180
純資産合計	1,472,875	2,074,575
負債純資産合計	2,046,614	2,732,019

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期累計期間 (自 2020年 3 月 1 日 至 2020年 8 月 31 日)
売上高	1,741,359
売上原価	262,284
売上総利益	1,479,075
販売費及び一般管理費	847,132
営業利益	631,943
営業外収益	
受取利息	1
その他	382
営業外収益合計	383
営業外費用	
支払利息	348
その他	0
営業外費用合計	348
経常利益	631,977
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	192,102
特別利益合計	192,102
特別損失	
固定資産除却損	0
減損損失	33,316
特別損失合計	33,316
税引前四半期純利益	790,764
法人税等	188,792
四半期純利益	601,971

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	790,764
減価償却費	35,821
減損損失	33,316
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△192,102
のれん償却額	4,998
固定資産除却損	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,335
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,278
受取利息及び受取配当金	△1
支払利息	348
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,498
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,606
未払金の増減額 (△は減少)	△53,969
前受収益の増減額 (△は減少)	44,068
その他	42,534
小計	685,942
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△348
法人税等の支払額	△103,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	581,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△25,830
無形固定資産の取得による支出	△43,246
敷金及び保証金の差入による支出	△19,550
敷金及び保証金の回収による収入	516
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,112
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△1,177
自己株式の取得による支出	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,450
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	492,122
現金及び現金同等物の期首残高	1,132,433
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	197,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,822,160

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当社は、プレスリリース配信事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。